

第1章 令和6年度 県政運営の総括

令和6年度の県政運営について、「強じん*な美し国*ビジョンみえ」及び「みえ元気プラン」の政策体系に沿って、16の政策ごとに総括しています。

また、「第3回みえ県民1万人アンケート」における生活の分野別満足度のうち、各政策に係る結果の概要を紹介しています（生活の満足度に関するアンケート結果の全体については、16ページから18ページを参照してください）。

政策1 防災・減災、県土の強靱化

津波避難施設等の整備を行う市町への支援や、防災アプリ「みえ防災ナビ」の運用開始、土砂災害や高潮・地震・津波対策、緊急輸送道路等の機能確保などに取り組みました。

自然災害への備えに満足していない県民の割合が高いことから、近い将来に発生が危惧される南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害などへの備えをさらに万全にしていく必要があります。

県民のいのちを守ることは県政の最重要課題であり、いつ起こってもおかしくない大規模災害に備えるため、令和6年能登半島地震の支援活動を通じて得られた気づきもふまえ、新たな南海トラフ地震被害想定の実現に取り組むとともに、孤立地域対策や避難所の環境改善などのソフト面、緊急輸送道路の機能確保などのハード面の両面から防災・減災の取組を強化していきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
1-1 災害対応力の充実・強化	B	B	A	92
1-2 地域防災力の向上	A	A	A	97
1-3 災害に強い県土づくり	A	A	A	101

生活の満足度(第3回みえ県民1万人アンケート)のうち「自然災害への備え」という項目に対しては、「満足している層」の割合が10.3%、「満足していない層」の割合が31.1%となり、それぞれ第2回に比べて0.5ポイントの減少、1.3ポイントの増加となりました。

政策2 医療・介護・健康

医師の確保や偏在解消、介護ロボット等の導入支援による介護現場の生産性向上、「三重とこわか健康マイレージ事業」を通じた健康づくりなどに取り組みました。

高齢化が進展するなか、介護職員数は減少に転じていることから、介護職員の

処遇改善や外国人材の受入環境の整備などの取組を推進していく必要があります。

地域における医療と介護の総合的な確保を図るため、医療・介護分野の人材確保に取り組むとともに、地域の課題に対応できる医療提供体制や高齢化社会の進展に対応できる介護体制の整備等を推進していきます。また、健康寿命の延伸や生活習慣病等のリスクの軽減に向けて、健康づくりの取組を推進していきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
2-1 地域医療提供体制の確保	B	B	B	106
2-2 感染症対策の推進	B	B	B	112
2-3 介護の基盤整備と人材確保	B	B	B	115
2-4 健康づくりの推進	A	B	B	119

生活の満足度(第3回みえ県民1万人アンケート)のうち「健康状態」という項目に対しては、「満足している層」の割合が27.9%、「満足していない層」の割合が25.3%となり、それぞれ第2回に比べて2.2ポイントの増加、0.3ポイントの増加となりました。

同じく「医療サービス」という項目に対しては、「満足している層」の割合が23.9%、「満足していない層」の割合が20.5%となり、それぞれ第2回に比べて2.8ポイントの増加、±0ポイントでした。

同じく「介護・福祉サービスの利用しやすさ」という項目に対しては、「満足している層」の割合が8.7%、「満足していない層」の割合が18.4%となり、それぞれ第2回に比べて1.0ポイントの増加、2.4ポイントの減少となりました。

政策3 暮らしの安全

街頭防犯カメラの設置に向けた取組の推進や、車両捜査支援システムの増設、自転車ヘルメットの着用促進、悪質商法の被害防止の注意喚起などに取り組みました。

刑法犯認知件数、特殊詐欺認知件数、飲酒運転事故件数はいずれも増加しました。身のまわりの安全に満足していない県民の割合も増加していることから、さらなる取組が必要です。

県民の安全・安心の確保に向けて、街頭防犯カメラの設置を推進するとともに、防犯カメラ画像等の分析を行う高度AI*画像分析システムの拡充により捜査支援分析力の一層の強化を図るなど、犯罪の未然防止、早期検挙に取り組めます。また、消費者トラブルの未然防止・拡大防止や、将来的な血液製剤の安定供給に向けて若年層への献血の啓発にも引き続き取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
3-1 犯罪に強いまちづくり	B	C	C	122
3-2 交通安全対策の推進	B	B	B	126
3-3 消費生活の安全確保	B	B	B	129
3-4 食の安全・安心と暮らしの衛生の確保	B	B	B	132

生活の満足度(第3回みえ県民1万人アンケート)のうち「交通安全・防犯など身のまわりの安全」という項目に対しては、「満足している層」の割合が11.9%、「満足していない層」の割合が30.8%となり、それぞれ第2回に比べて2.0ポイントの減少、4.1ポイントの増加となりました。

政策4 環境

事業者等と連携した「みえデコ活」推進や、プラスチックの高度なりサイクルの促進、身近な自然環境の重要性に関する普及啓発などに取り組みました。

県域からの温室効果ガス*排出量など目標に届いていない指標もあることから、引き続き、さまざまな主体と連携して着実に取り組んでいく必要があります。

脱炭素*社会の実現に向けた温室効果ガス削減の取組や、プラスチック対策等の社会的課題の解決に資する資源循環の取組を進めるとともに、広域で連携した海洋ごみ対策などを通じて環境保全に取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
4-1 脱炭素社会の実現	A	B	B	136
4-2 循環型社会の構築	B	B	B	139
4-3 自然環境の保全と活用	B	A	B	142
4-4 生活環境の保全	B	B	B	144

生活の満足度(第3回みえ県民1万人アンケート)のうち「身のまわりの自然環境」という項目に対しては、「満足している層」の割合が34.8%、「満足していない層」の割合が14.6%となり、それぞれ第2回に比べて2.5ポイントの増加、0.6ポイントの増加となりました。

政策5 観光・魅力発信

首都圏等大都市圏におけるプロモーションや、拠点滞在型観光の推進などに取り組みました。

全国的には訪日外客数が過去最高を記録しているものの、本県ではインバウンド*の回復が遅れているため、重点的に取り組む必要があります。

このため、より効果的なインバウンド誘客に向けた戦略の策定や、宿泊施設の和洋室化への支援などの受入れ環境の充実、インバウンド誘客に重点的に取り組む市場における観光・物産・食が一体となったプロモーション、高付加価値旅行者の誘致などに取り組んでいきます。

また、三重テラスや関西圏に設置する期間限定の情報発信拠点など、大都市圏におけるプロモーションに取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
5-1 持続可能な観光地づくり	B	B	B	147
5-2 戦略的な観光誘客	C	C	C	150
5-3 三重の魅力発信	A	A	A	153

政策6 農林水産業

農林水産業の生産体制・生産基盤の整備や、人材の確保・育成、県産農林水産物の販路拡大、農山漁村の振興などに取り組みました。

農林漁業者の減少や高齢化の進行、気候変動の影響、資材価格の高止まりなど、農林水産業を取り巻く環境は厳しさを増していることから、こうした社会情勢の変化に的確に対応していく必要があります。

農林水産業を持続的な産業として発展させるため、気候変動に対応した技術開発や、スマート技術の実装を通じた生産性の向上、多様な人材の確保と育成、輸出を含む県産農林水産物の販路拡大、農山漁村における所得・雇用機会の確保などを進めていきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
6-1 農業の振興	B	A	A	157
6-2 林業の振興と森林づくり	B	B	B	162
6-3 水産業の振興	B	B	B	166
6-4 農山漁村の振興	A	A	A	170

政策7 産業振興

中小企業・小規模企業における生産性向上や、アセアン地域を中心とした海外ビジネス展開の促進、成長産業の企業誘致などに取り組むとともに、自動車産業やヘルスケア産業への業態転換等の取組を支援しました。経営基盤の強化に向けては、「三重県版経営向上計画」や事業継続計画（BCP*）の策定支援など、一層進めていく必要があります。

さらに、県内への半導体関連産業の投資促進に向けて、方針の策定や産学官連携による人材育成などに取り組むとともに、洋上風力発電や次世代型太陽電池（ペロブスカイト太陽電池）等の新エネルギーについて導入促進に取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
7-1 中小企業・小規模企業の振興	B	B	B	173
7-2 ものづくり産業の振興	A	A	A	176
7-3 企業誘致の推進と県内再投資の促進	A	A	A	180
7-4 国際展開の推進	A	A	A	183

政策8 人材の育成・確保

三重県の就職支援情報を一元的に把握できるポータルサイト*「みえの仕事さがし ch.」の運用を開始するとともに、企業へのアドバイザー派遣や、働き方改革推進奨励金の支給による多様な働き方の促進などに取り組みました。一方で、人口の転出超過は続いており、仕事のやりがいや生活とのバランスに満足していない県民の割合がやや高いことから、人口還流の取組や、女性も男性も働きやすい職場づくりの取組を一層推進する必要があります。

三重県での暮らしや働く魅力を伝えるコンテンツによる就職支援情報等の発信や、若年求職者のニーズに沿ったきめ細かな就労支援サービスの提供に取り組んでいきます。また、カスタマーハラスメント防止対策や、外国人や障がい者の雇用に取り組む企業への支援など、県内企業の働きやすい職場環境の整備を促進していきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
8-1 若者の就労支援・県内定着促進	B	B	B	185
8-2 多様で柔軟な働き方の推進	A	A	B	188

生活の満足度(第3回みえ県民1万人アンケート)のうち「仕事のやりがいや生活とのバランス」という項目に対しては、「満足している層」の割合が21.0%、「満足していない層」の割合が25.0%となり、それぞれ第2回に比べて2.2ポイントの増加、1.1ポイントの減少となりました。

政策9 地域づくり

「人口が減っても住み続けられる地域コミュニティのしくみ検討会議」の開催や、移住フェア等を通じた三重県での暮らしの魅力発信、学生や若者を対象とした南部地域の魅力を体感してもらうツアーの実施などに取り組みました。

引き続き、市町とも連携しながら、地域・市町の実情に応じた持続可能な地域づくりを推進していく必要があります。

移住希望者のニーズや特性に応じたプロモーションの実施や、南部地域に賑わいをもたらす「人の流れ」の創出、熊野古道伊勢路をはじめとする東紀州地域の魅力の発信に取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
9-1 市町との連携による地域活性化	A	A	A	192
9-2 移住の促進	A	A	A	195
9-3 南部地域の活性化	B	B	B	198
9-4 東紀州地域の活性化	B	B	B	200

政策10 デジタル社会の推進

DX*人材を育成する研修の実施や、「みえスタートアップ支援プラットフォーム」における相談窓口の設置、行政DX推進に向けた電子申請における電子納付の普及や行政手続のデジタル化などに取り組みました。

県内企業におけるDXの促進やスタートアップ*の創出の支援、行政サービスのDXについて、さらなる取組を進めていく必要があります。

企業におけるDX人材の育成やDX導入の支援を進めるとともに、県民の皆さんの利便性をさらに向上させるため、電子申請ができる手続を増やすなど、サービス内容の改善を進めます。また、地域課題を解決するスタートアップの創出に向けて、スタートアップ等が集う首都圏のインキュベーション施設等と連携し、県外からの起業人材の流入を促進していきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
10-1 社会におけるDXの推進	A	A	A	202
10-2 行政サービスのDX推進	A	B	A	205

政策11 交通・暮らしの基盤

幹線道路の整備や、良好な道路空間の形成、港湾施設の老朽化対策、市町における移動手段の確保に向けた取組への支援、花とみどりの活動促進、住宅・建築物の耐震化の促進などに取り組みました。

移動手段・交通の便利さに満足していない県民の割合が全体の50%を超えており、移動手段の維持・確保に向けた一層の取組が必要です。

日々の暮らしを支える道路・港湾や都市基盤の整備の推進に引き続き取り組むとともに、公共ライドシェアの導入など交通空白の解消に取り組む市町への支援、バス・タクシーの運転士確保の取組など交通の確保・充実を進めていきます。また、能登半島地震での教訓をふまえ、木造住宅の耐震化に向けた周知・啓発や、水の安定供給のための主要施設の耐震化、適切な維持管理などにより、暮らしの基盤を確保していきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
11-1 道路・港湾整備の推進	A	A	A	207
11-2 公共交通の確保・充実	A	A	A	213
11-3 安全で快適な住まいまちづくり	A	A	A	216
11-4 水の安定供給と土地の適正な利用	A	A	A	220

生活の満足度(第3回みえ県民1万人アンケート)のうち「移動手段、交通の便利さ」という項目に対しては、「満足している層」の割合が17.7%、「満足していない層」の割合が50.1%となり、それぞれ第2回に比べて0.2ポイントの増加、1.9ポイントの増加となりました。

政策12 人権・ダイバーシティ

人権啓発イベントの実施や、臨床心理士等のアドバイザーを活用した人権相談への対応、女性が活躍できる環境整備の企業の取組促進などに取り組みました。

ジェンダーギャップ指数(経済分野)は全国低位であり、ジェンダーギャップ解消に向けて重点的に取り組む必要があります。

「三重県性暴力の根絶をめざす条例（仮称）」の制定に向けて検討を進め、性暴力の根絶に向けた気運醸成を図ることなどにより、誰もが尊重される社会づくりに取り組んでいきます。また、ジェンダーギャップ解消に向けて、性別にかかわらず誰もが家庭でも仕事でも活躍できる環境となるよう、企業トップ層の意識啓発や、働く女性のロールモデルとの交流会を実施するとともに、先進取組企業や活躍する女性リーダーの情報を一元的にわかりやすく発信するためのポータルサイトの構築などに取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
12-1 人権が尊重される社会づくり	B	A	A	222
12-2 ダイバーシティと女性活躍の推進	B	A	A	225
12-3 多文化共生の推進	A	A	A	228

政策13 福祉

地域社会で生きづらさを抱える人への支援や、三重おもいやり駐車場利用証制度の運用、農林水産業における障がい者の就労機会の拡大などに取り組みました。

多機関協働による包括的な相談支援体制が整備されている市町数が目標を下回っているほか、障がい者施設において職員による虐待事案が発生するなど課題が残っています。

誰もが社会から孤立することなく、希望を持って安心して暮らせるよう、「みえ障がい者共生社会づくりプラン」をはじめ、新たに策定した「第二期三重県地域福祉支援計画」、「第二期三重県ひきこもり支援推進計画」に基づく取組を進めるとともに、障がい者虐待の未然防止、迅速で適切な対応を行うための研修の実施や、虐待事案の発生した施設等に対して改善に向けた指導を行っていきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
13-1 地域福祉の推進	B	B	B	231
13-2 障がい者福祉の推進	B	B	B	235

生活の満足度(第3回みえ県民1万人アンケート)のうち「介護・福祉サービスの利用しやすさ」という項目に対しては、「満足している層」の割合が 8.7%、「満足していない層」の割合が 18.4%となり、それぞれ第2回に比べて 1.0 ポイントの増加、2.4 ポイントの減少となりました。

同じく「交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」という項目に対しては、「満足している層」の割合が 16.4%、「満足していない層」の割合が 16.5%となり、それぞれ第2回に比べて 1.1 ポイントの増加、0.6 ポイントの減少となりました。

政策 14 教育

自己肯定感を涵養する授業づくり・学校づくりや、キャリア教育*の推進、教職員を対象とした発達障がい者支援等の専門性の向上を図る研修の実施、弁護士によるいじめ予防授業、外国人児童生徒への日本語指導の充実、教職の魅力向上や働き方改革などに取り組みました。

子どもの教育に満足していない県民の割合がやや高く、教員不足といった喫緊の課題もあることから、引き続き取組を強化していく必要があります。

子どもたちの自己肯定感を育む教育や、地域企業と連携した郷土教育・キャリア教育、いじめ対策アドバイザーの県立学校への派遣、校内教育支援センターの整備促進などを通じた不登校の児童生徒への支援を進めるとともに、これらの取組を支える教職員の資質向上や教員の人材確保といった対策にも取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
14-1 未来の礎となる力の育成	B	B	B	240
14-2 未来を創造し社会の担い手となる力の育成	B	B	B	245
14-3 特別支援教育の推進	A	A	A	250
14-4 いじめや暴力のない学びの場づくり	B	B	B	253
14-5 誰もが安心して学べる教育の推進	B	B	B	257
14-6 学びを支える教育環境の整備	B	B	B	261

生活の満足度(第3回みえ県民1万人アンケート)のうち「子どもの教育」という項目に対しては、「満足している層」の割合が 9.8%、「満足していない層」の割合が 16.7%となり、それぞれ第2回に比べて 1.0 ポイントの増加、2.0 ポイントの減少となりました。

政策 15 子ども

市町の子ども・子育て支援事業の充実に向けた補助、保育士等キャリアアップ研修の実施、「三重県児童相談所職員人材育成計画」の策定、みえ出逢いサポートセンターによる情報発信などを実施しました。また、令和5年度の児童死亡事例を受けた検証委員会の検証結果もふまえて児童虐待対応力の強化に取り組みました。

保育所等の待機児童の発生や、保育所での不適切保育事案の発生などの課題が残っていることから、取組を一層強化していく必要があります。

令和7年3月に改正・策定した「三重県子ども条例」および「ありのままみえっこプラン」に基づき、全ての子どもが豊かで健やかに育ち、安全に安心して暮らすことができる社会の実現に向け取組を推進していきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
15-1 子どもが豊かに育つ環境づくり	A	A	A	266
15-2 幼児教育・保育の充実	C	C	C	270
15-3 児童虐待の防止と社会的養育の推進	B	D	B	273
15-4 結婚・妊娠・出産の支援	A	A	A	276

生活の満足度(第3回みえ県民1万人アンケート)のうち「子育てのしやすさ」という項目に対しては、「満足している層」の割合が9.5%、「満足していない層」の割合が16.5%となり、それぞれ第2回に比べて0.8ポイントの増加、2.4ポイントの減少となりました。

政策 16 文化・スポーツ

各県立文化施設における魅力的な展覧会等の開催や、将来の競技スポーツを担う新たな選手の発掘・育成、クラブアドバイザーによる訪問を通じた総合型地域スポーツクラブ*の質的充実などに取り組みました。

県障がい者スポーツ大会の参加者数が目標を下回っているという課題もあり、県民の皆さんがスポーツにふれ親しむ機会の拡充に取り組んでいく必要があります。

文化については、「三重県文化振興計画」に基づき文化団体の支援のあり方に関する検討や、三重の歴史や文化を紹介する企画展等の開催などにより、心豊かに活力ある三重の実現をめざします。また、スポーツについては、県民の皆さんが「する」、「みる」、「支える」機会を充実させる取組など、地域におけるスポーツ振興や障がい者スポーツの裾野の拡大に取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価			記載ページ
	4年度	5年度	6年度	
16-1 文化と生涯学習の振興	A	A	A	280
16-2 競技スポーツの推進	B	B	B	283
16-3 地域スポーツと障がい者スポーツの推進	B	B	B	285

生活の満足度(第3回みえ県民1万人アンケート)のうち「文化・スポーツなどの趣味、生きがい」という項目に対しては、「満足している層」の割合が 22.3%、「満足していない層」の割合が 17.6%となり、それぞれ第2回に比べて 3.1 ポイントの増加、1.3 ポイントの減少となりました。

<参考> 県民の皆さんの「生活の満足度」について

～「第3回みえ県民1万人アンケート」の結果より～

県では、平成10（1998）年度から県民1万人を対象とした意識調査を開始し、平成14（2002）年度からは毎年度実施しています。

県民の皆さんのご意見をお聴きする貴重な機会であり、「生活の満足度」などを把握し、県政運営の推進に活用することとしています。

<「第3回みえ県民1万人アンケート」の調査概要>

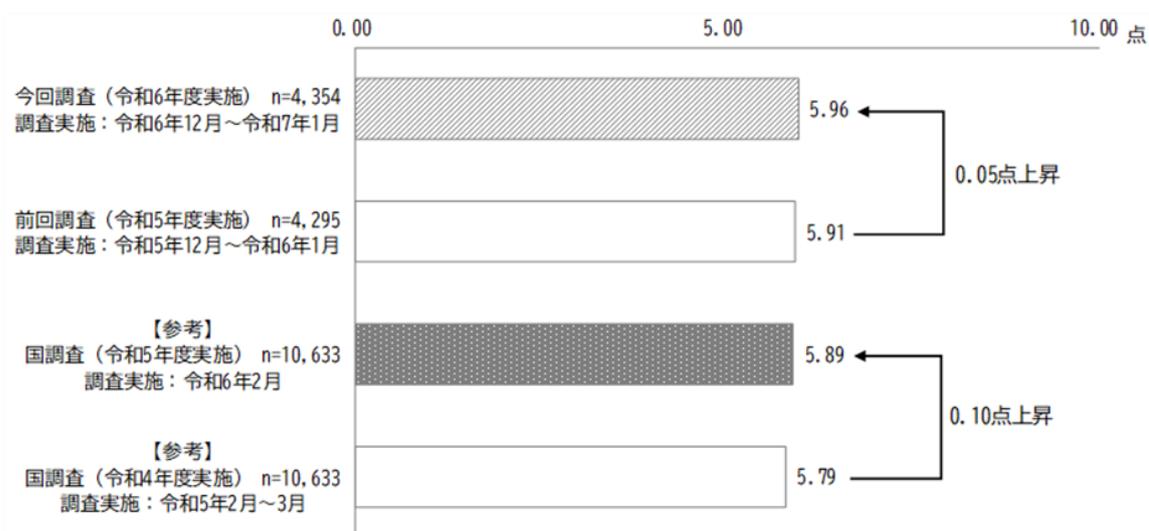
- (1) 調査地域 三重県全域
- (2) 調査対象 県内居住の18歳以上の者
- (3) 標本数 10,000人
- (4) 抽出方法 各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法
標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当て
- (5) 調査方法 郵送による発送、郵送・インターネットによる回収
- (6) 調査期間 令和6年12月～令和7年1月
- (7) 有効回答数 4,592人（有効回答率45.9%）

<「第3回みえ県民1万人アンケート」の調査結果>

1 現在の生活の満足度

- 県民の皆さんが現在の生活にどの程度満足しているか（以下、生活の満足度）について、内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」（以下、国調査）の質問に準じ、10点満点で質問したところ、平均値は5.96点で、第2回みえ県民1万人アンケート（以下、前回調査）より0.05点高くなっています。（図表1）

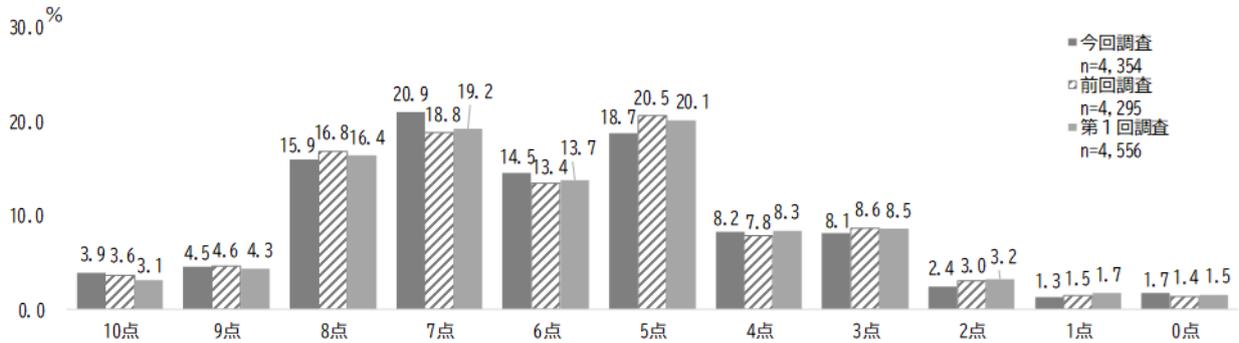
図表1 生活の満足度の平均値（国調査及び前回調査との比較）



※国調査は、約10,000人へのインターネット調査（うち約5,500人は前回調査からの継続サンプルであるパネル調査）であることなど本県の調査方法と異なる点がある。

- 点数の分布をみると、「7点」の割合が20.9%と最も高く、次いで「5点」が18.7%、「8点」が15.9%となっており、M字型となっています。前回調査と比較して、「7点」と「5点」の順位が入れ替わりました。（図表2）

図表2 生活の満足度の分布（過去調査との比較）



2 14分野別の満足度

- 生活の幅広い範囲について包括的に評価できる総合的な主観満足度とは別に、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる14分野別の満足度を調べ、生活の満足度を多角的に把握します。（図表3）

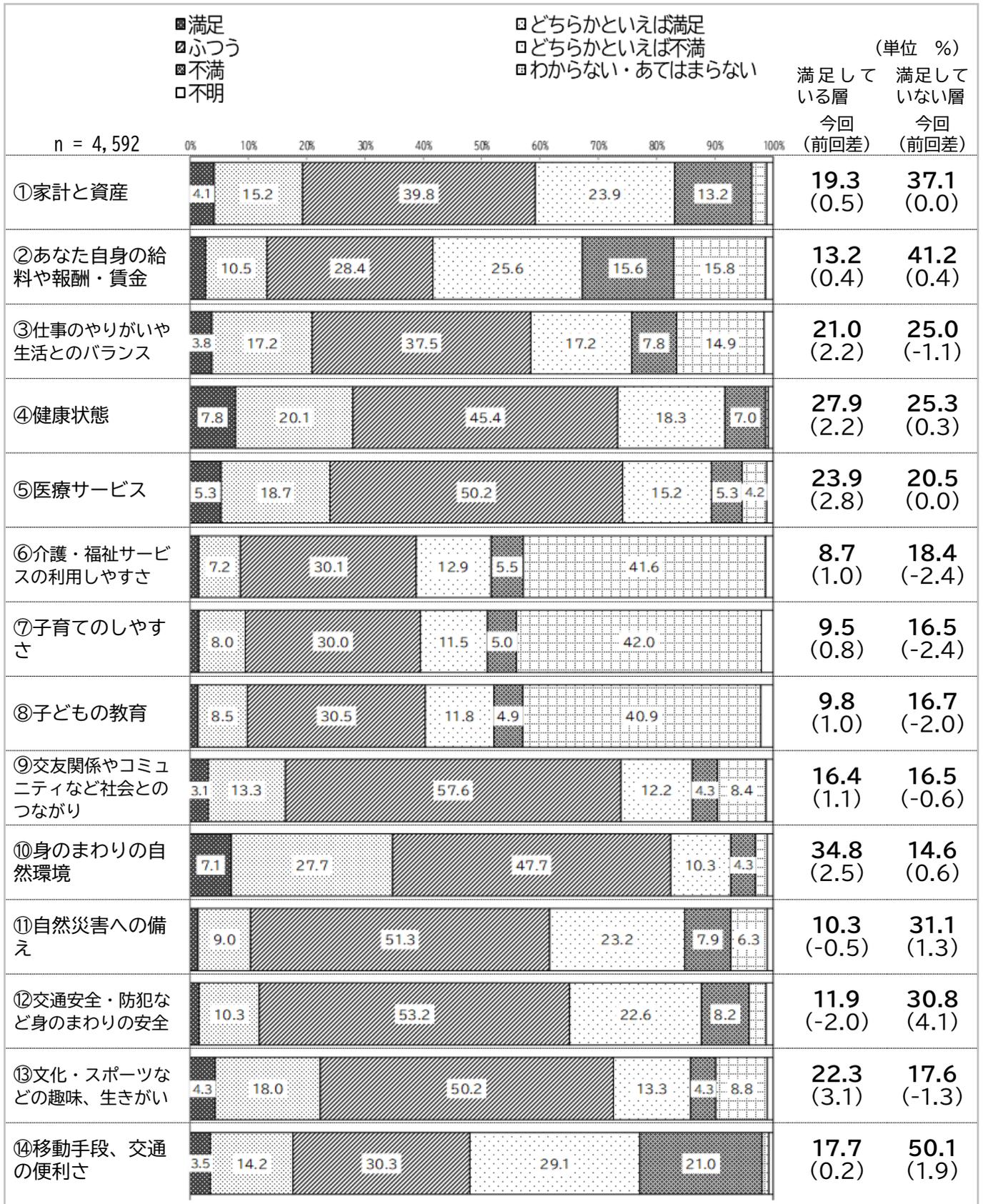
【「満足している層」の割合】

- 「満足」と「どちらかといえば満足」の回答を合計した「満足している層」の割合は、「⑩身のまわりの自然環境」が34.8%で最も高くなっています。次いで、「④健康状態」(27.9%)、「⑤医療サービス」(23.9%)の順となっています。

【「満足していない層」の割合】

- 「不満」と「どちらかといえば不満」の回答を合計した「満足していない層」の割合は、「⑭移動手段、交通の便利さ」が50.1%で最も高くなっています。次いで、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」(41.2%)、「①家計と資産」(37.1%)の順となっています。

図表3 14分野別の満足度（一覧）



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出